

令和7 年度 こども・子育てシンポジウム

# 西公園プレーパークの会 活動事例紹介

西公園プレーパークの会 佐藤 美嶺

# 冒険遊び場（プレーパーク）とは

## 冒険遊び場（プレーパーク）の定義

冒険遊び場は、すべての子どもが自由に遊ぶことを保障する場所であり、子どもは遊ぶことで自ら育つという認識のもと、子どもと地域と共につくり続けていく、屋外の遊び場である。

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 2021年3月制定

- ・全国で活動しているのは542団体  
(2024年度「第9回冒険遊び場づくり活動団体活動実態調査」時点)

## プレーリーダーの定義

冒険遊び場のプレーリーダーは、子どもが自ら遊び育つ環境づくりの知識と技能を備え、多様な人が参画できる子どもを中心とした遊び場をつくる人のことをいう。

特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 2023年3月制定

# 西公園プレーパーク

子ども達がいつでも行ける！  
誰でも遊べる！  
「やってみたい！」に挑戦できる遊び場

自然の中で  
子どもたちが遊ぶのを  
プレーリーダーや  
ボランティアの大人が  
見守っています

## 西公園プレーパークの願い

子どもが外で元気に育ちますように  
みんなに出番がありますように

- ・ 子どもの育ちへの願い（子どもの健全育成）
- ・ 親の子育てへの願い（子育て家庭の支援）
- ・ 西公園・地域への願い（まちづくり）
- ・ 遊び場づくりへの願い（市民・企業・行政の協働）

遊びの主体が子どもであることを大切にしています  
危険を排除せず、危険管理できる環境をつくります





# 活動概要

## ■ 主な活動：

- **西公園プレーパーク事業**

子どもの居場所づくりのために、屋外(西公園)での自由な遊び場  
「プレーパーク」を運営

- **西公園ちびぱーく事業**

妊婦および乳幼児家庭の子育て支援のために、屋外(西公園)での自由な  
遊び場「ちびぱーく」を運営

## ■ 開催日：

- 毎月第2・第4週の土・日 10時～17時

毎週月曜日、第2第4土・日に続く水曜日 10時～15時

※毎月チラシを発行



## ■ 開催場所：

- 仙台市青葉区西公園内  
(西公園北側)

# 令和6年度で20周年を迎えるました！

2024 R6	2023 R5	2022 R4	2021 R3	2020 R2	2019 R1	2018 H30	2017 H29	2016 H28	2015 H27	2014 H26	2013 H25	2012 H24	2011 H23	2010 H22	2009 H21	2008 H20	2007 H19	2006 H18	2005 H17	2004 H16	2003 H15	2002 H14	2001 H13	2000 H12	年度
123回	131回	136回	131回	108回	134回	145回	145回	140回	117回	174回	169回	140回	106回	160回	150回	200回	200回	200回	157回	49回	48回	34回	6回	2回	開催数
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200回
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150回
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100回
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50回
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	常駐PL
活動年表（数字は月を表す）																									
四季の公園・河原で遊びうる会（2回）・（参考）7仙台冒険あそび場（3日間）																									
台原森林公園から移転）冬季含めた年間開催開始（34回）・資材運搬車（1回）運用開始（参考）7仙台冒険あそび場（3日間）																									
毎月第2週・第4週土日曜日の定期開催開始（48回）・（参考）7仙台冒険あそび場（3日間）																									
事務名を西公園フレーバーに変更（49回）・ちびばーく事業開始（参考）7仙台冒険あそび場（3日間）																									
子どもにとっての常設化開始・常駐フレーリーダー配属開始（人件費に使える助成金活用）・メディアワークショップ事業開始（樹木の名札づくり）・5ブレーリーダー英語派遣																									
子どもにとっての常設化開始・常駐フレーリーダー配属開始（人件費に使える助成金活用）・メディアワークショップ事業開始（樹木の名札づくり）・5ブレーリーダー英語派遣																									
子どもにとっての常設化開始・常駐フレーリーダー配属開始（人件費に使える助成金活用）・メディアワークショップ事業開始（樹木の名札づくり）・5ブレーリーダー英語派遣																									
4花見での地域トラブルで火の使用中止・地域との関係改善の話し合い継続																									
西公園社の応援団事業開始（樹木の名札づくり）・5ブレーリーダー英語派遣																									
広場開園																									
6火の使用再開（チラシに表記）・子どもの遊び環境学習会事業開始																									
プレーパーク内に倉庫常設・青葉区）近所会議発足（共同発起人・事務局）																									
西公園フレーパークを支える会発足・旧親水庭園清掃開始・2仙台市公園課長からの要請で異業種交換（西公園市民団体連携協議会）・西公園フレーパーク再開（平日土日夕方までの定期開催）・常駐フレーリーダー配置再開（入会費に使える助成金活用）																									
10ブレバ周辺の落ち葉等一齊清掃＆搬出（放射線対策）・原発事故時の緊急度落ちた時期を見計らって実施																									
子どもにとっての常設化再開（平日土日夕方までの定期開催）・常駐フレーリーダー配置再開（入会費に使える助成金活用）																									
被災地の遊び場報告書発行・常設10周年お祝い会実施																									
土の遊び道・砂場つくり開始・11第7回冒険遊び場づくり全国研究集会（宮城）に参加																									
都市公園法改正（民間との連携重視）・西公園を育てるラボに参加																									
西公園4WEEKS																									
4青葉区公園課のすすめで公園施設設置・管理許可を受けた・西公園フレーパーク（PP）は教養施設（体験学習施設）・テープル倉庫、バースケットゴール設置開始・2第1回西公園PPのパークマネジメント報告会																									
2第2回西公園PPのパークマネジメント報告会・2常設15周年記念式典（2月）開催																									
2資材運搬車（2台）購入・3新型コロナ感染拡大のはじまり（フレバ中止6ヶ月まで）																									
7コロナ禍により活動を縮小しての開催・開催なしでも使える砂場遊び道具・ボールの設置開始・旧親水庭園の清掃再開・ソウ山サーキットづくり開始（令和2年度仙台市遊びの環境に関する調査・研究）に協力																									
6仙台市みどりの基本計画に「パークマネジメント報告会」記載・7第3回西公園PPのパークマネジメント報告会																									
4ミーティング・スケットコード使用開始・9第4回西公園PPのパークマネジメント報告会・「令和4年度仙台市遊びの環境に関する実証実験」に協力																									
5新型コロナが5類感染症に移行・4・5全都市緑化仙台フェアに遊びイベント協力参加・9第5回西公園PPのパークマネジメント報告会・「令和5年度仙台市遊びの環境に関する調査・研究」に協力・青葉区の「Fun・Fun・Find事業」での連携開始・子どもの遊び環境デザインチームの事業開始開始																									
9第6回西公園PPの協力・「あそびは仙台」実施・12メティアード（アソビカ）は「あそびは仙台」で「あそびは仙台」実施・中間意見募集・常設20周年記念誌発行（本誌）																									
IV パークマネジメント移行期																									
III 被災地の遊び場並行期																									
II 常設パーク独自推進期																									
I パークマネジメント移行期																									
V プレー場充実期																									

# 子どもとともにつくるプレーパーク

子どもが「この人に話したい」と思える関係づくり

大人の価値観で否定しない、ルールを押し付けないなど  
子どもが思ったこと（主体性）を、まずはそのまま受け容れる

子どもの話を**聞く姿勢**が大事

子どもは好奇心があふれ、遊びを生み出し  
たくて大人に声をかけてくる

→「広げる」声かけで、やりたいことの  
延長線上に会話が広がる

**親ではない大人が、話を受け容れる雰囲気**  
を大事にしている



会う頻度が高くなれば関係性ができていくので、  
遊び場（居場所）が**子どもの生活圏内にあることが大事**

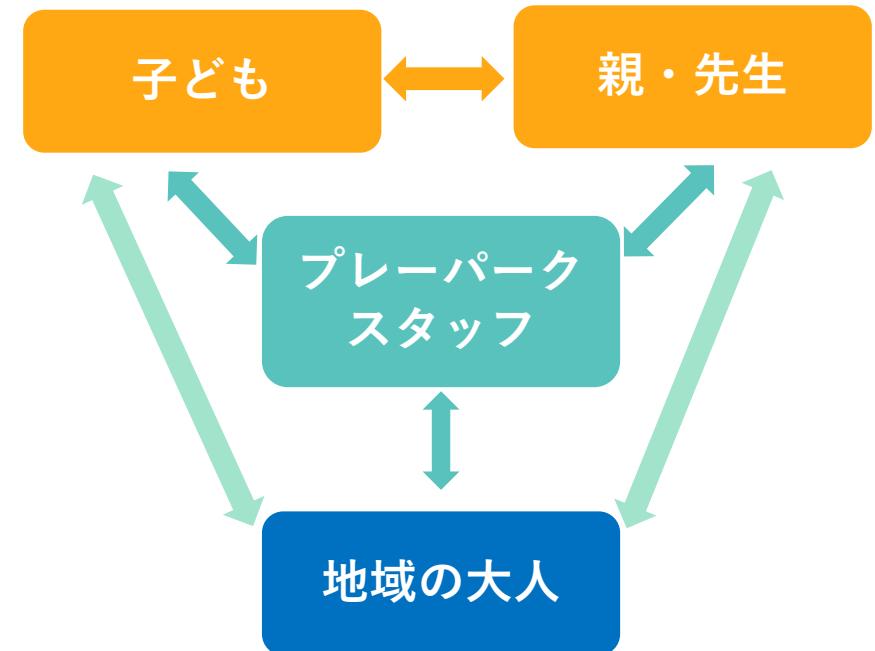
# 親・先生以外の大人との関わり

家庭でも教育機関でもない

**第3の場所という価値**を大事にしている

オープンスペースなので  
いつでも、誰でも来られる  
→人が混ざり合う

- ・大人もいろんな人と出会い、楽し  
    そうに話している姿を子どもが見る
- ・“地域で子育て”という大人の雰囲気  
→子どもの社会への安心感  
    が育まれる



**大人のやりとりを見て、子どもは人との関わり方を学ぶ**

# 西公園プレーパークの会つながりマップ



連携・交流が  
少しづつ  
広がっている



※ 1 ご近所会議：近隣の子ども関係団体が集まって、顔の見える関係で情報交換などを行なっている

※ 2 お外育児の会あおぞら：西公園プレーパークを主な活動場所としている子育てグループ

※ 3 おしゃべり相談会：地域でプレーパークを始めた（始める）団体が迷いや悩み、疑問を共有し語り合っている

※ 4 パークマネジメント報告会：前年度お世話になった団体等にお声がけして、活動報告と意見交換を行っている





